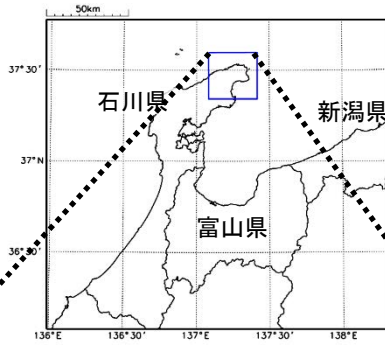


石川県能登地方の地震活動

震央分布図

(2020年12月1日～2022年1月31日、
深さ0～25km、M≥1.0)

黒色の吹き出しは各領域（a～d）内で最大規模の地震
赤色の吹き出しは矩形内で2022年1月中の最大規模の地震
2022年1月の地震を赤色で表示

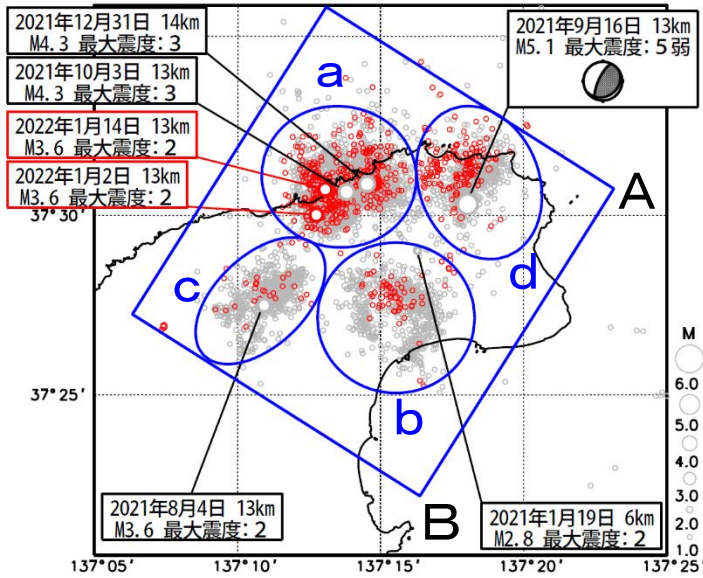


石川県能登地方（拡大図の矩形内）では、2018年頃から地震回数が増加傾向となり、2020年12月から地震活動が活発になった。2022年1月中もその傾向は継続している。2022年1月中の最大規模の地震は、2日及び14日に発生したM3.6の地震（ともに最大震度2）である。なお、活動の全期間を通じて最大規模の地震は、2021年9月16日に発生したM5.1の地震（最大震度5弱）である。

2020年12月以降の領域別の地震活動をみると、最初に活発化した領域bの活動は、2021年4月以降鈍化傾向であったが、2021年10月末から11月中頃まで一時的に活発になり、2022年1月中もやや活発になった。領域bに続き活発化した領域cの活動も一旦鈍化がみられたが、2021年12月にやや活発になった。一方、遅れて活発化した領域a及び領域dの活動は依然活発である。矩形領域内で震度1以上を観測した地震の回数は以下の表のとおり。

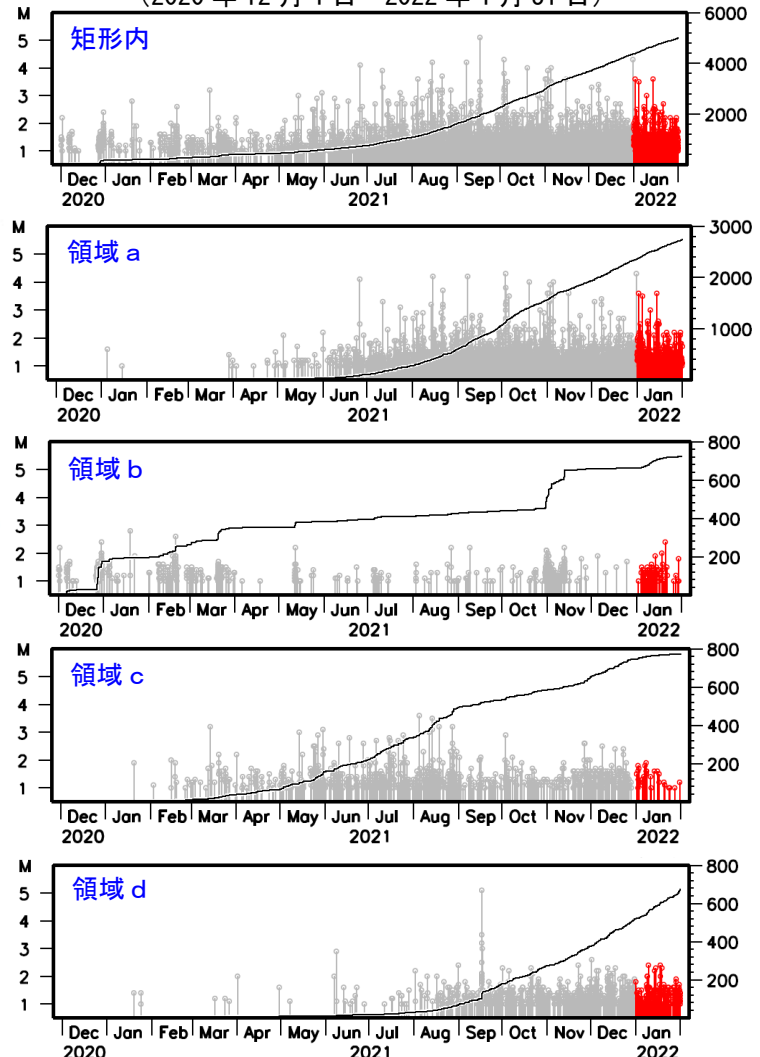
期間別・震度別の地震発生回数表

期間	震度					計
	1	2	3	4	5弱	
2020年12月1日 ～2021年12月31日	39	19	10	1	1	70
2022年1月1日～31日	3	3	0	0	0	6
2022年2月1日～5日	1	0	0	0	0	1
計	43	22	10	1	1	77

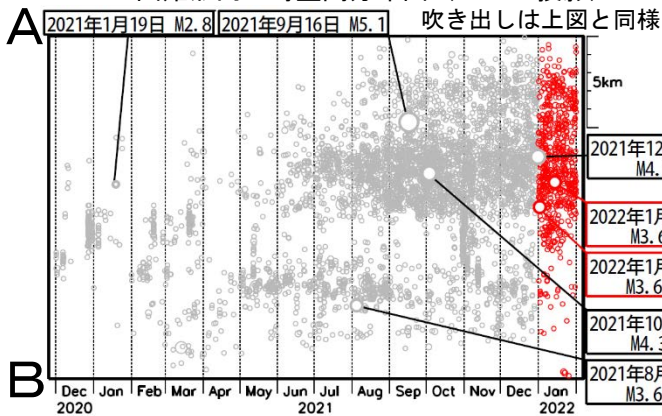


左図矩形内及び領域a～d内の
M-T図及び回数積算図

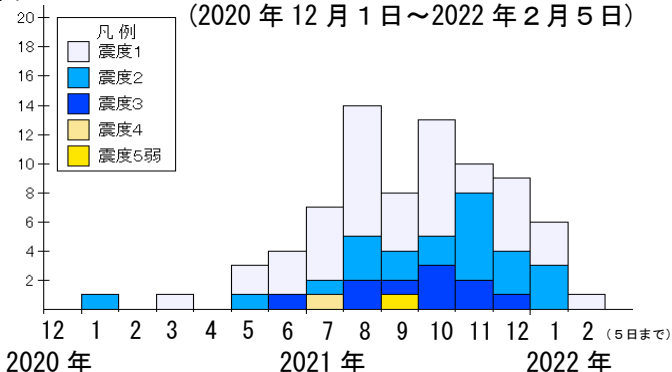
(2020年12月1日～2022年1月31日)



上図矩形内の時空間分布図（A-B投影）



回 矩形内の地震の月別震度別発生回数
(2020年12月1日～2022年2月5日)



気象庁作成